

気になる行動への対応

〽**誉める子育て**〽



長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻
理学・作業療法学講座 准教授

いわなが 岩永 りょう いち ろう 竜一郎

昭和43年1月21日生 長崎市出身
学歴:長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
(博士課程)修了

学位:医学博士
資格等
・作業療法士
・認定作業療法士(作業療法士協会認定)
・感覚統合認定講師(日本感覚統合学会認定)
・特別支援教育士スーパーバイザー(LD学会認定)
・自閉症スペクトラム支援士エキスパート
(自閉症スペクトラム学会認定)



ひつじ年が始
まって早くも2
か月。年末の紅
白歌合戦はいつ
のことだか。た

大きな変化

乳幼児期は発達が著しい時期で、行動面、情緒面にも大きな変化が起きます。そのため、落ち着きがない、乱暴な行動があるなど、行動への対応で悩む親御さんが多いと思います。そこで医学領域や心理学領域で注目されているペアレントトレーニングの考えに基づいて、そのような行動への対応方とがあります。



子どもの行動の改善のために、子どもの良い行動に注目したり、誉めたりする対応を増やすことが解決策になることがあります。

がゲームを続ける↓③
一向にゲームをやめない
ので親がイライラして
「いつまでゲームして
いるの？早く着替えな
さい」と言う↓④子ども

気にして
いませんか？

子ども達のなかには行動の問題が目立つ子どもがいます。そのような子ども達は大人から注意を受ける機会が多くなるでしょう。ときには大人から強い叱責を受けることがあるでしょう。そして、注意されたり叱られたりする子どもは行動と大人の関わりは強い関係にあり、相互に影響しあうことで循環ができあがります。行動面が気になる子どもがいた場合、親子で悪循環ができあがっていることがあります。

ことで、イライラしたり反抗的になったりすることもあります。叱られたために後になって2次の問題が出てくる子どももいます。叱られることに慣れてしま

例えば、次のようなことが起こります。①子どもが着替えの途中にゲームで遊び始めたので「早く着替えなさい」と親が言う↓②子どもは「うん、あとで」と言う

がゲームを続ける↓③
一向にゲームをやめない
ので親がイライラして
「いつまでゲームして
いるの？早く着替えな
さい」と言う↓④子ども
が「うるさいなー、もう
ちょっとで着替える」と
言いつつゲームをやめ
ない↓⑤親が怒りだし
て「早くしなさい、いつ
もそうでしょー」と怒る
↓⑥子どもが「うるさ
い、もうしない！」と
言って服を投げて着替
えようとしなない。このよ
うに子どもの気になる
行動を親が注意したこ
とから、親子がいがみ合
うような悪循環ができ
あがる場合があります。
このような悪循環を断
ち切り、良い循環に切り
替えることが大事なの
です。これはすぐにでき
ますが、そう簡単な

かえてみよう

まず、先ほどの例で
は、①のところで親は子
どもが問題を起こした
ところで声掛けをして、
います。ひるがえって、
子どもが問題を起して
いないときに注目して
声掛けをするとうずで
しょうか？①で着替え
をしているときに「ズボ
ン履いたね、次は靴下を
な？」と声掛けすると子
どもは気分が良くなり、
着替えを続けたかもしれ
ません。子どもが着替
えを続けると親も気分
が良くなり「着替えが早
いね」などと誉める言
葉がでてくるかもしれま
せん。

このように望ましい行
動に目を向けてそれ

かえてみよう

まず、先ほどの例では、①のところで親は子どもが問題を起こしたところで声掛けをしています。ひるがえって、子どもが問題を起していないときに注目して声掛けをするとうでしようか？①で着替えをしているときに「ズボン履いたね、次は靴下かな？」と声掛けすると子どもは気分が良くなり、着替えを続けたかもしれません。子どもが着替えを続けると親も気分が良くなり「着替えが早いね」などと誉める言葉が出てくるかもしれません。

このように望ましい行動に目を向けてそれ

が子どもとの悪循環を生むきっかけを作ることとがあるのです。大人が自分達の癖に気づいて、それを変えてみることからスタートしてみることと良いと思います。つまり、子どもが良くない行動をしたときのみに目を向けるのではなく、望ましい行動が起こつているときに目を向けて、その行動を誉めると良いということです。ただだいたい、望ましい行動とは優秀な行動ではありません。日常的なこと、例えば、自分から着替えを始めた、食事を完食した、靴をそろえた、帰つてきて手を洗ったなども望ましい行動です。そのよ

大人が日常の何気ない行動を誉める対応を増やしていくと子どもが自分から良い行動をやるようになるようになり、問題行動がなくなってしまうことがあります。ぜひ、誉める子育てを実践してみてはいかがでしょうか。



大人が日常の何気ない行動を誉める対応を増やしていくと子どもが自分から良い行動をやるようになるようになり、問題行動がなくなってしまうことがあります。ぜひ、誉める子育てを実践してみてはいかがでしょうか。

誉めてみよう

大人が日常の何気ない行動を誉める対応を増やしていくと子どもが自分から良い行動をやるようになるようになり、問題行動がなくなってしまうことがあります。ぜひ、誉める子育てを実践してみてはいかがでしょうか。



葉を借りて送りたい。「小学校は楽しいことがいっぱいだよ。そして大人になってもっと楽しいことがたくさんあるよ。卒業おめでとう」(S・I)